



## TKK 共通シラバス

1. 科目名	社会防災特別講義Ⅳ				
2. 教員名	江田 英里香	3. 担当大学	神戸学院大学		
4. 対象学年	2年生以上	5. 開講時期	前期	6. 単位数	2単位

7. 授業の目的・到達目標（神）、授業のねらい及び具体的な達成目標（工）、授業の概要（内容）・到達目標（東）					
<p>&lt;主題&gt; 紛争・戦争・災害・貧困・環境など人間の安全保障を脅かす状況が深刻化している。国際社会の協力活動にも拘らず、世界の多くの地域で、子どもたちを中心に多くの人々が飢えや病気に苦しんでいる。このような現状に対して、毎回、国内外において国際協力の現場で活動を行うゲスト・スピーカーを招き、わが国のODA（政府開発援助）、国際協力、地域連携やNGOとの連携や新しい活動などを視野に入れつつ、世界で起きている課題に対して具体的な活動内容を紹介する。なお、講義内容及び順番についてはゲスト・スピーカーの都合等により、大幅に変更もありうる。</p> <p>&lt;目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の政府開発援助の内容を理解把握したうえで、説明することができる</li> <li>・開発途上国の現状と課題を説明ができる</li> <li>・世界における日本の国際的立場を理解し、国際協力の意義を説明できる</li> <li>・世界に対して将来の自分の役割を広めることができる</li> </ul>					
8. 授業のキーワード（神）					
政府開発援助（ODA）、開発途上国の課題、国際協力、NGO					
9. 授業の進め方（神）、授業の方法（東）					
外部からの講師を招聘し、我が国の国際協力の現場での活動や援助のあり方を理解する					
10. テキスト、参考書、指定図書（神）、教科書・参考書等（東）					
11. 事前、事後に受講してほしい講義等（東）					
12. 提出課題など（神）					
授業内ショートレポート及び中間レポートを課す。ショートレポートやレポートに記載された共有すべき疑問や質問に対しては、授業内にて総括的にフィードバックする。					
13. 評価基準（神）、成績評価方法及び水準（工）、評価の方法・基準（東）					
授業内コメントカード（45%） 中間レポート（25%） 期末小論文または試験（30%）					
14. 履修するにあたって（神）、学生へのメッセージ（工）、授業時間外学習（予習・復習）・履修上の注意事項（東）					
<p>世界のさまざまな課題を理解するために、各講義に対して、新聞やHPへアクセスし、事前（1時間）及び事後学習（2時間）の計3時間程度行うこと。</p> <p>毎回出席カードを提出すること。授業中の私語は禁じる。遅刻は認めない</p> <p>尚、この科目は開講大学以外の学生が履修する場合、オンデマンドでの開講となります。受講の方法などは各大学のガイダンスや講義の中で説明いたしますので、必ず詳細を確認し、履修登録を行ってください。</p>					

15. 参考（ホームページ（神）、オフィスアワー（工）等）

## 【授業計画（神）（東）、授業計画及び準備学習（工）】

講義番号	主題	内容
第1回	ガイダンス	カリキュラム及び講義概要の説明
第2回	JICAによる青年海外協力隊	JICA（国際協力機構）が実施している青年海外協力隊の事例について理解を深める。
第3回	JICA 専門家による支援活動	開発途上国における JICA の支援活動について理解を深める。
第4回	スポーツや予防医学を通じた国際協力	開発途上国におけるスポーツを通じた支援の現状について理解を深める
第5回	NGO による支援活動（医療・保健） ①	開発途上国での貧困による医師不足や医療へのアクセス不足に対して、医療が届かない場所で失われてゆく「いのち」をつなぎとめるための医療活動を行う NGO の支援の現状について理解を深める。
第6回	NGO による支援活動（医療・保健） ②	開発途上国での貧困による医師不足や医療へのアクセス不足に対して、医療が届かない場所で失われてゆく「いのち」をつなぎとめるための医療活動を行う NGO の支援の現状について理解を深める。
第7回	JICA による国際緊急援助	世界で大規模な自然災害が発生した際、JICA（国際協力機構）が実施している国際緊急援助の現場での活動や援助のあり方を理解する。
第8回	大学生の途上国支援	大学生における開発途上国の支援について理解を深める
第9回	教育を通じた国際協力①	開発途上国の教育支援の現状について理解を深める。
第10回	教育を通して国際協力②	開発途上国の教育支援の現状について理解を深める。
第11回	NGO による支援活動（社会開発）	開発途上国での緊急支援の後に求められる社会開発について、NGO による支援の現状と課題について理解を深める。
第12回	大学による支援活動	高等教育である大学が行う開発途上国への支援について理解を深める。
第13回	研修生受け入れによる技術支援	NGO が国内で実施している途上国の若者の人材育成支援の現状について理解を深める。
第14回	講義内容の振り返り	講座を締めくくりにあたり、これまでの講義内容を振り返り、各人が国際協力への理解と参加について考える。
第15回	NGO による防災教育	NGO が実施している災害リスクの軽減・環境問題に対する支援の現状について理解を深める。

## 【コンピテンシー】

本講義を通して身につけることが期待されるコンピテンシーは、以下のグラフを目安にしてください。

